

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	都市公園整備	箇所	目標	0.00	1.00	0.00
	1年当たりの公園整備数		実績	0.00	0.00	0.00
		㎡	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	都市公園整備	㎡	目標	10.00	10.00	0.00
	市民一人当たりの公園面積		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市都市公園条例により一人当たりの標準(目標)面積、また土地区画整理事業施行規則第9条第6号の規定により、区画整理区域内の公園面積については設置基準が定められている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	都市公園法及びその他法令により、都市公園は行政が設置する公園である。
	手段の妥当性	A 妥当である	土地区画整理事業の進捗状況に合わせ、公園を計画的に整備しているので妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	係が統合され人員削減の中で従来と同水準の事業を実施しており、効率化が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	都市公園運用指針1.都市公園の設置基準(2)基本的な考え方によって、公園誘致距離標準が定められており、また、都市公園法施行令第2条により公園規模も適正基準で設置されているため、公平である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	市民一人当たりの公園面積も順調に上がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	土地区画整理事業の進捗状況に合わせ公園整備を計画的に進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
・整備することが目的ではなく、利用していただくことが目的であるので、設備等の検討が課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
・今後も地域の意見を聞き、ユニバーサルデザインによる安全で安心な憩いの場としての公園整備を進める。 ・整備後は、協働のまちづくりとして、公園の環境美化及び施設の保全等維持管理活動を地元とともに進めていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民や地域の意見等を聞き、ユニバーサルデザインによる安全安心な公園提供を継続的に図る。整備費用に関しては、補助対象事業を検討し予算措置を図る必要があるとともに、整備完了後の管理等についても、地元自治会等との連携を図り経費削減に努める必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。